

1 学校の概要

(1)学校規模 学級数: 3 学級 生徒数: 33 名 教職員数: 12 名

(2)体験活動の観点からみた学校環境

山野は、福山市にありながら、恵まれた自然があり、歴史的・地理的な大きな特色をもっている。そして、山野の地域の方々の教育に対する関心は非常に高く、学校に対する惜しめない協力があり、地域全体で子どもたちの健全育成を見守っていかうとする環境が整っている。

生徒は学年の枠を越えて、諸活動や諸行事に取り組む機会が多く、お互いに協力的で活発に取り組んでいる。また、生徒同士は仲がよく穏やかであり、落ち着いて学習にも取り組んでいる。しかし、少数であるがゆえの人間関係の諸課題もある。特に生徒同士の刺激が少なく、受け身的で自己表現力に課題がある。

2 研究の概要

(1)学校教育目標

「他律から自律へ」

地域の特性を生かし、生徒の実態をふまえて、自ら課題に気づき、思考し、判断し、活発に表現し、実践する生徒の育成をめざす。

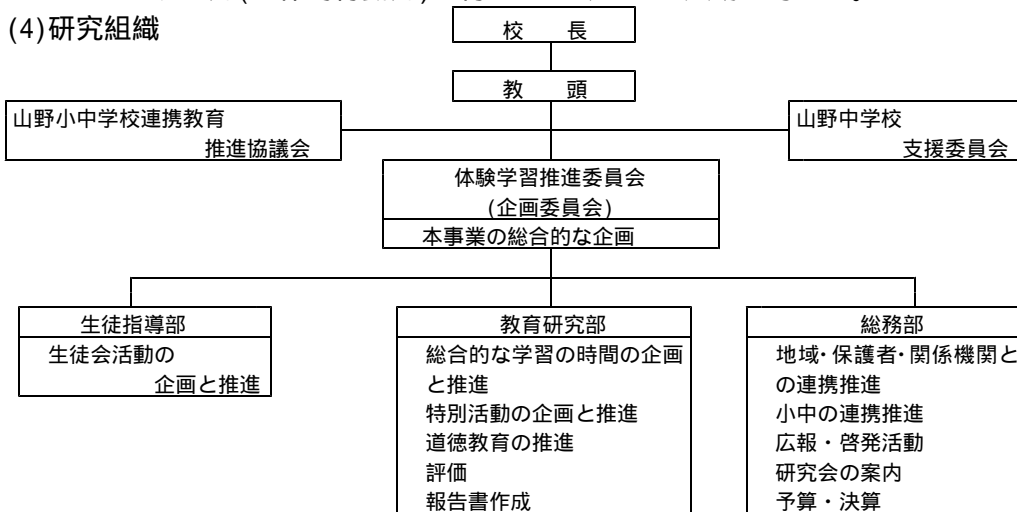
(2)研究主題

『地域から学ぶ体験活動を通して、豊かな心を育む教育』

(3)ねらい


恵まれた環境のもと「地域が学校」という考え方に立ち、地域の人々との様々な出会いや触れ合いなどの体験活動を通して、人と人とのつながりの大切さなど様々な道徳的な価値に気づかせ、郷土を愛し・豊かな心を持った生徒を育成する。特に、いろいろな体験活動をとおして、自ら求め、学び、自己判断し、自分で解決していかうとする力(自己解決能力)、自分の気持ちや考えを相手に伝える力(自己表現力)、自他の存在に関心を持ち、今までの固定観念にとらわれず、相手との良好な人間関係を発展させるとともに、自己実現を図るのに必要な力(人間関係を発展させる力)、自ら判断し、決定し、何事にも臆することなくチャレンジする力(主体的行動力)を育てていくことが大切と考える。

(4)研究組織





(5)体験活動の概要



総合的な学習の時間での「生き方学習」




ねらい		地域のお年寄りや地域で活躍されている方を講師に招くなどして、体験に基づいた話を聞いたり、実際に体験活動する中で、人間としての生き方を学ばせ、地域に誇りが持てる生徒を育てる。					
対象学年		全学年					
月	単元名	単元のねらい	評価規準	時間・主な内容	場所	講師等	道徳との関連
5	昔の家庭行事と食べ物 (体験) (講話)	昔から伝えられてきた節句の行事の一つである「ちまきづくり」を教わりながら、昔からの生活の知恵や生き方を学ぶ。	昔から伝えられてきている節句の行事とそのいわれについて理解できる。 ・ちまきづくりを教わりながら、昔からの生活の知恵を学ぶことができる。	2時間扱い ・いろいろな節句と食べ物 ・ちまき作り ・会食	中学校	地域の方 (1名) 	「道徳」 内容項目 3 - 1 4 - 9

6 1 2	炭焼き (体験) (講話)	<ul style="list-style-type: none"> 山野の伝統的な産業であり特産物の一つである炭焼きを体験する。 山野の伝統産業を継承しておられる地域のお年寄りとの交流を通して、昔からの生活の知恵や生き方を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 炭を作る一連の作業工程(木切り・木割り・木運び・窯詰め・口作り・火入れ・窯出し・炭切り・箱詰め)ができる。 炭と生活・環境との関連が理解できる。 炭焼きを教わりながら、昔からの生活の知恵を学ぶことができる。 	10時間扱い <ul style="list-style-type: none"> 工程の説明:1時間 木切り・木割り・木運び:3時間 窯詰め・口作り・火入れ:2時間 窯出し・炭切り・箱詰め:2時間 炭焼きと生活(講話:2時間) 	こつと ん村 	山野民俗資料保存会の方々 (8人)	「道徳」 内容項目 4 - 5 4 - 8 4 - 9
4 8 11	和紙づくり (体験) (講話)	<ul style="list-style-type: none"> 山野の伝統的な産業であり特産物の一つである和紙づくりを体験する。(3年生は卒業証書にする) 本校で和紙づくりを始めた先生に和紙づくりの由来を聞き、伝統のすばらしさを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 和紙をつくる一連の作業工程(がん皮採取・黒皮むぎ・煮沸・さらし・ごみ取り・叩解・ミキサ-かけ・漂白・紙すき・乾燥・プレス)ができる。 本校の和紙づくりの由来を知り、伝統のすばらしさについて考えることができる。 	6時間扱い <ul style="list-style-type: none"> 工程の説明:1時間 がん皮採取・皮むぎ:2時間 和紙づくりの歴史:1時間 煮沸・さらし・ごみ取り・叩解・ミキサ- (夏休み:9時間) 和紙すき:2時間 	中学校 	元本校職員 (1名)	「道徳」 内容項目 3 - 1 4 - 5 4 - 7 4 - 8 4 - 9 「美術」 絵手紙 ラブリエード
7	和太鼓の魅力 (体験) (講話)	<ul style="list-style-type: none"> 和太鼓の魅力について話を聞いたり、プロの和太鼓の演奏を聴くことにより、これからの和太鼓の練習に対する意欲づけとする。 文化祭での和太鼓の発表にむけて、和太鼓の基礎的な技術を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 本物の和太鼓演奏を聴き、和太鼓の魅力を感じ取ることができる。 和太鼓の基礎打ちができる。 	2時間扱い <ul style="list-style-type: none"> 和太鼓の魅力 基礎打ち リズム練習 *「音楽」「放課後」 1年「ぶちあわせ太鼓」 2年「三宅横打ち」 3年「秩父屋台ばやし」 	中学校 	和太鼓演奏者(1名)	「道徳」 内容項目 4-7 4-9 「音楽」 ・和太鼓
9	山野民俗資料館について (講話)	<ul style="list-style-type: none"> 山野の民俗資料館について話を聞くことにより、山野の歴史や昔の生活について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 山野の歴史について理解することができ、これからの体験学習につなげることができる。 	1時間扱い <ul style="list-style-type: none"> 山野の歴史と生活 民俗資料館ができるまで 	中学校	公民館長 (1名)	「道徳」 内容項目 4-8 4-9
10	そばづくり (講話) (体験)	<ul style="list-style-type: none"> 山野の伝統的な食文化の一つであるそばづくりを体験する。 地域の方との交流を通して、生活の知恵や生き方を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> そばをつくる一連の作業工程(粉の調合・練る・延ばす・切る・ゆでる)ができる。 そばづくりを教わりながら、昔からの生活の知恵を学ぶことができる。 	4時間扱い <ul style="list-style-type: none"> そばと山野の生活:0.5 そば打ち:3 会食:0.5 	中学校 	そば打ち名人(3名)	「道徳」 内容項目 4-8 4-9
12 1	点字体験と点字絵本づくり (講話) (体験)	<ul style="list-style-type: none"> 点字を学習することにより、誰もが安心して暮らしやすい社会について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 点字についてより深い理解ができる。 点字による簡単な絵本を作ることができる。 点字を通して、誰もが安心して暮らせる社会について考えることができる。 	10時間扱い <ul style="list-style-type: none"> 点字の基礎知識:1 基本の点字打ち練習:3 点字絵本づくり:5 絵本の相互交流:1 	中学校 	「むぎの会」 (2人)	「道徳」 内容項目 2-5 4-3 4-4 4-5

特別活動の時間等での主な体験活動

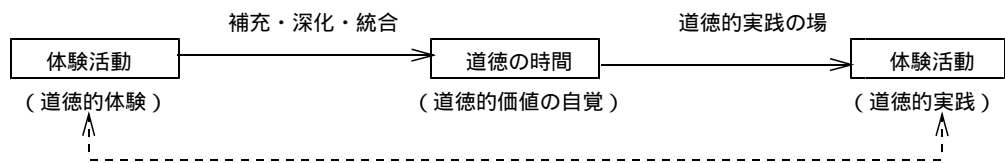
生徒会活動							
対象学年		全学年					
月	活動名	活動のねらい	評価規準	時間・主な内容	場所	講師等	道徳との関連
10	文化祭	<ul style="list-style-type: none"> ・文化的行事をとおして、生徒の感性を豊かにし、学級や全校の集団の質を高めていく。 ・各教科、選択教科、総合的な学習等の学習の成果を発表する場とする。 ・地域の人々とのコミュニケーションの場とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会を中心に主体的な活動ができる。 ・文化祭のテーマ「Believe in yourself～自分を信じてがんばろう～」にせまることができる。 ・地域の人々とのコミュニケーションをとることができる。 	5時間扱い 【ステ－ジ発表の部】 ・各学年の出し物「劇」 ・全校合唱 ・和太鼓 ・選択教科発表 ・PTAコ－ラス 【展示発表の部】 ・各教科・選択教科発表 【バザ－の部】	中学校 	地域・保護者の方々	「道徳」 内容項目 1-5 4-1 4-7 「各教科」 「選択教科」 「総合的な学習」
11	ゲートボール大会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のお年寄りとの交流を深めることにより、大会にのぞむ姿勢やお年寄りの生き方等を学ぶ。 ・練習や試合をとおして生徒間の絆を深めるとともに、協力の大切さを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会を中心に主体的な活動ができる。 ・地域のお年寄りとの交流を深めると共に、礼をつくした態度をとることができる。 ・協力をする事の大切さが理解できる。 	2時間扱い ・生徒、教職員、老人クラブ混合で、1チ－ム5名の16チ－ム編成 ・試合時間は1試合25分とする。	中学校 	老人会の方々	「道徳」 内容項目 2-2 4-6
12	小中合同駅伝・ロードレース大会	<ul style="list-style-type: none"> ・練習や大会をとおして体力づくりを行う。 ・最後まで走りきる忍耐力や精神力を養う。 ・小中合同練習や大会をとおして、思いやりや協力の大切さを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会を中心に主体的な活動ができる。 ・練習や大会において、持っている力を出しきることができる。 ・思いやりのある行動をとることができる。 	2時間扱い ・駅伝は中学生と小学校5・6年生の混合チ－ム（6区間9チ－ム） ・ロードレースは小学校1～4年生	中学校 	駐在所 保護者 保育所	「道徳」 内容項目 1-2 2-3 「保健体育」 長距離走
12	小中合同地域清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが住んでいる山野町内の清掃活動をとおして、ごみについて考え、山野の環境をよくしようとする態度を養う。 ・小中合同での活動をとおして、思いやりや協力の大切さを学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会を中心に主体的な活動ができる。 ・地域清掃を通して山野の環境について考えることができる。 ・班で協力して清掃活動ができる。 ・思いやりのある行動をとることができる。 	1時間扱い ・中学生と小学生混合で4班編成 ・班毎に行動し、終了後班毎に山野の環境について意見交流をする。 ・小中代表者事前打ち合わせ会を持つ	町内の道路沿い 	明るい町づくり推進委員	「道徳」 内容項目 4-5 4-3 4-8

学校行事・学級活動							
月	活動名	活動のねらい	評価規準	時間・主な内容	場所	講師等	道徳との関連
8	職場訪問(1学年)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の産業を知り、山野を身近なものとしてとらえる。 ・将来の自分の進路について考えるきっかけとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の職場の概要を知ることができる。 ・仕事の概要を整理し、生徒同士の情報交流ができる。 ・自分の進路について考えることができる。 	・職場訪問(2時間) 【事前事後指導】 ・山野の職場 ・職場訪問の仕方マナ－ ・学んだことの交流	地域の職場 	地域の職場の方々(4事業所)	「道徳」 内容項目 2-1 4-5
		<ul style="list-style-type: none"> ・実際の労働をとおして、働くことの大切さや大変さ、やり遂げた後の達成 	<ul style="list-style-type: none"> ・任された仕事を責任もってやりきることができる。 ・働くことの大切さや大変さが 	・職場体験(6時間) 【事前事後指導】 ・職業について調べ学習	地域の職場 	地域の職場の方(8事業所)	「道徳」 内容項目 2-1

8	職場訪問 (2学年)	感など身をもって体験する。 ・将来の自分の仕事を考え、自分の進路について考える参考とする。	理解できる。 ・自分の進路について考えることができる。	・卒業後の進路 ・職場体験の仕方マナ - ・学んだことの交流			4-5
9	学区民運動会 (全学年)	・競争や協同の経験を通して、公正な態度や、進んで規則を守り、互いに協力して責任を果たすなどの態度を養う。 ・地域や保護者の方々と共に学び合い、励ましあうなかで交流を深める。	・練習の成果を全力で出し切ることができる。 ・ルールを守り、協力して競技ができる。 ・地域や保護者の方と交流を深めることができる。	6時間扱い ・中学校の演技種目 集団行動・短距離走・リレ - ・組み体操等 ・地域や保護者と一緒に一般種目の中で参加していく。	小学校 グラウン ド 	地域・保護者の方々	「道徳」 内容項目 4-1 4-8 「保健体育」 集団行動・ 短距離走・ リレ - 等
1	小中合同書き初め大会 (全学年)	・新年の抱負を書き初めに表し、交流しあう。 ・小中合同で書き初めを行うことをとおして、思いやりや協力の大切さを学ぶ。	・新年の思いを心をこめて書くことができる。 ・書いた書を見せながら今年の抱負を披露することができる。 ・思いやりのある行動をとることができる。	2時間扱い ・今年度の抱負を書き初めに書き、みんなに披露。 ・小学校1・2年生は硬筆 ・小学校3年生～中学生は毛筆	中学校 		「道徳」 内容項目 1-2 「国語」 書道

(6) 体験活動を生かした道徳教育

特別活動や総合的な学習の時間等で、生徒が道徳的価値について心が動かされる共通体験を仕組んだり、日常生活を振り返らせることによって、道徳の時間でよりいっそう道徳的価値の深まりと、内面化をさせていく。



【生徒の感想】

様々な体験活動で、地域の方を先生としてお招きするなど多方面でお世話になってきました。自分たちだけでは難しいであろう「そばづくり」「炭焼き」など、ただ触れあうだけでなく、伝統として受け継いで欲しいという地域の方の思いと共に、たくさんのことを学べたと思います。また、これらのいろいろなふれ合いや行事などとおして、地域の方が私たちのことを気にかけ、優しく見守ってくださっていることがよくわかりました。学校の帰り道、いつも「お帰りなさい」と言ってくださる近所の方や、学校の配り物をしに地域の方の家にうかがった時「ありがとう」と言ってくださる方……。いろいろな地域の方に声をかけてもらえる『中学生』という時期が、とても楽しかったです。「山野はただの田舎だ」と思っていた自分がちょっとはずかしいです。山野というふるさとの優しさやあたたかさを心の宝として、自信を持って中学校を卒業していこうと思います。

(7) 学校支援委員会の取り組み

	内 容
第1回学校支援委員会 (6月4日)	学校経営方針の説明 学校支援委員会の任務について 地域のゲストティチャ - 等の情報交換
第2回学校支援委員会 (12月18日)	本年度取り組んだ体験活動の現状報告 来年度の体験活動へ向けての提言

【学校支援委員会の構成】

勤務先又は機関・団体名	職名
山野公民館	館長
山野町内会連合会	会長
明るい町づくり委員会	会長
山野町福祉を高める会	会長
山野中学校教育後援会	会長
山野中学校PTA	会長

3 成果と課題

(1) 成果

地域への関心が深まり、ふるさと山野に誇りを持たせる一助となった。
体験活動と道徳学習との関連を図ることにより、道徳的な価値が深まりより内面化させることができた。
地域からの学校への信頼・支援が高まってきた。

(2) 課題

体験活動をより精選し、時間をかけてじっくり取り組む必要がある。
地域の教育力をより有効に活用するために、学校支援委員会を活性化させる必要がある。
体験活動の成果を、地域に還元していく取り組みを研究していく必要がある。